

平成 31 年度 国際教育学科 中期日程入学試験 講評

問題は、英文読解問題と日本語での表現力をみる問題から構成されている。読解問題では、主に現代社会の課題や国際的な問題、時事的なテーマなどからの確に英文の内容を把握できるか、その上で、内容に関する確に理解できるか、自分の意見等を日本語で筋道立てて展開できるか、などをみている。

出題意図

データと国際的な観点を通して日本の教育制度を批判的に検討した内容に関して、英文を読み解き、内容の理解力や自分の意見を日本語で展開する能力をみている。

評価のポイント

- 問 1 英文の内容を理解し、文脈に沿って英単語を文中から選べるかどうかをみた。
- 問 2 文脈を理解して正しい表現を入れられるかをみた。
- 問 3 lopsided の意味を文脈から推測できるかをみた。
- 問 4 英文の意味を文脈に即して正しく理解できているかをみた。
- 問 5 This の指し示す内容を文脈から読み取った上で、英文の意味を正しく説明できるかをみた。
- 問 6 文章全体を理解し、文脈に即して、適切な語を選択できるかをみた。
- 問 7 (1) 筆者が端的に記している仮説を見落とさずに読み取り、正確に理解することができるかどうかをみた。
(2) データによる裏付けのある「事実」を本文中から選択して挙げる事が出来るか、また、具体性と根拠を持って論理的に自分なりの意見を組み立てる能力があるかをみた。

答案の傾向

- 問 1 半分くらいの人が正解であった。
- 問 2～3 概ねよくできていた。
- 問 4 前半部分は比較的よく意味が取れていたが、on behalf of や higher education の意味が取れていなかった答案が目立った。
- 問 5 This の意味を踏まえた上で、下線部の意味を正確に説明できている解答が多くあり、比較的よくできていた。
- 問 6 半分程度の正解者が多かった。
- 問 7 (1) 概ね半分程度の正解者が多かった。

- (2) 自身の経験をもとに独自の意見を記述している答案が多かった一方で、具体性や根拠に欠ける回答や、課題文が示すデータとの関連性が不明瞭な回答も少なくなかった。